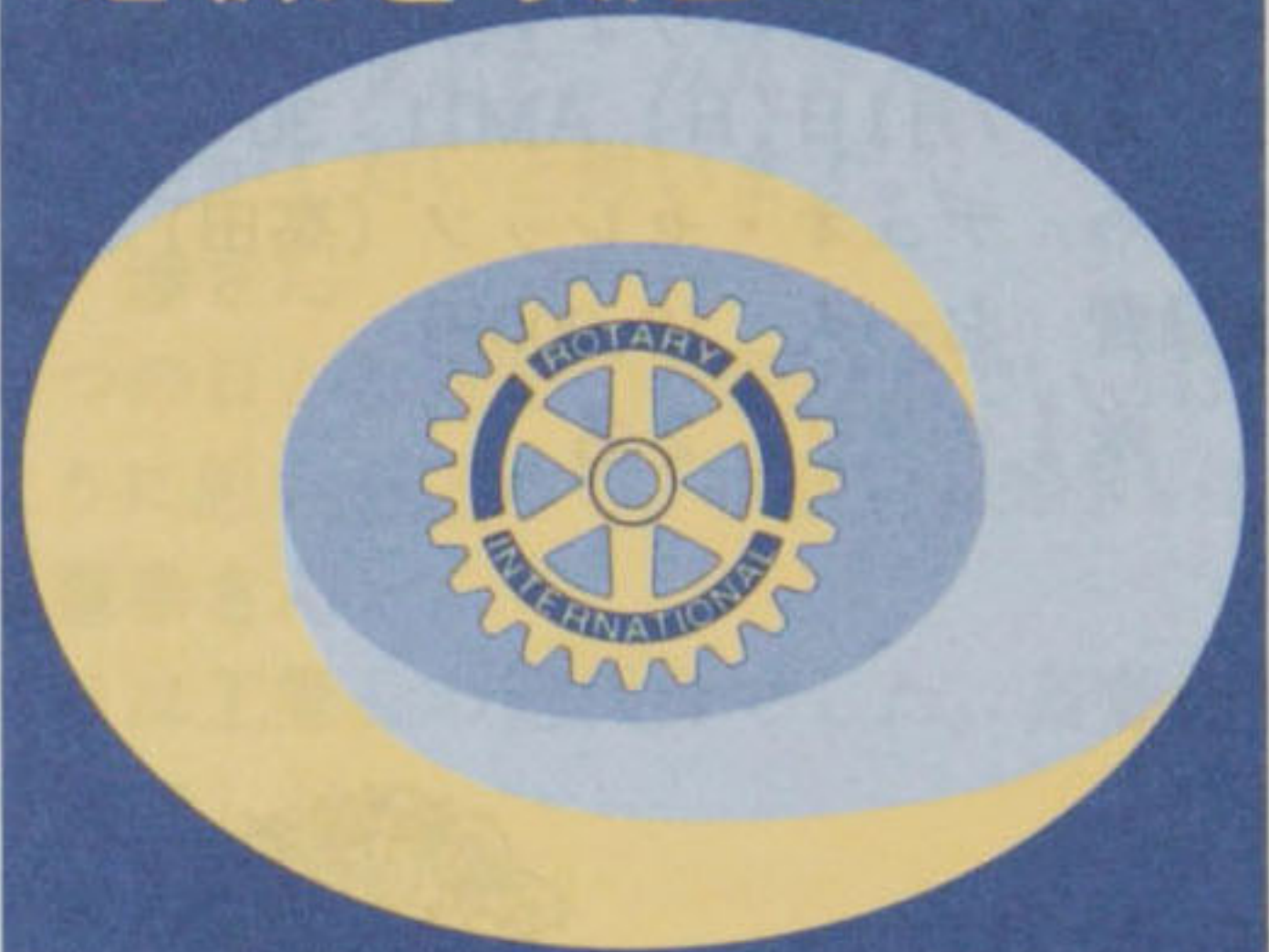


意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——吉田昭平
会長——斎藤弘文
会長エレクト——五十嵐昭一
副会長——松谷昊吉彦
幹事——丸山行彦
副幹事——清水良一
S A A——荻根沢隆雄
副 S A A——中村和彦

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店内
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	71名中 46名
先々週出席率	85.29%

ビジター

三木みどりより
藤本晏夫さん

ゲスト

「心の苗」広報宣伝チーム
森山一理様

先週のメイクアップ

5/23 新潟南へ
渋谷健一さん
5/23 新井へ
加藤紋次郎さん
5/28 三条南へ
古沢富雄さん



5/29 三条北へ

渡辺喜彦さん、丸山行彦さん、五十嵐昭一さん、清水良一さん、佐野勝栄さん、会田二郎さん、広岡豊作さん、松谷昊吉さん、石橋育於さん、小越憲泰さん、五十嵐総一さん、五十嵐晋三さん、渡辺勝利さん、渋谷健一さん、加藤紋次郎さん、長谷川有美さん

会長挨拶

斎藤弘文会長

ご挨拶申し上げます。

三木みどりの藤本さん、ようこそお出で下さいました。どうぞゆっくりお過ごし下さい。

又、卓話をお願いしました加茂ロータリークラブの森山さん、本当に有り難うございます。楽しみに卓話を待っています。

最近、新潟県の記事がテレビや新聞等マスコミ関係に多くでる様になりました。

先般、刈羽村の原子力発電のプルサーマル計画実行の賛否をめぐる住民投票が行われましたが、これも大きな記事になり全国に報道されました。

巻の原子力発電所設置反対の住民投票の結果と同様に刈羽村のプルサーマル計画実施も否決されましたが、この結果を見ますと意外に賛成派は善戦したなと思います。こういう問題を提起し住民投票を実施しますと、どちらと言うと不安感の方が先行しますので、結果的には賛成することは大変勇気のいる選択ですので、もう少し反対票が多く出るのではないかと考えていました。この差は刈羽村の人達はこの件に関してはよく勉強して正しい選択をした結果ではないかと思えます。

私は常々思う訳ですが、住民投票そのものに皆様が真剣に考えていかなければ、これからはなにもできない時代がくるのではないかと思います。

エネルギーの代替え問題にしましても、学者の人達が色々研究勉強していますが、今のところ確固たるものがない次第ですが、電気というものは大変大事なものでありまして、我々もつい20年、30年前には電気が来ないため会社も電休日ということで仕事を1日休んだこともある訳です。ですから、この様なことを考えてみますと本当の意味で何が国民にとって幸せになるか、もっと強力にアピールしていかなければ大変なことになるなそんな気が致します。

やはり、日本で今一番欠けているものは何であるかという、国益という考え方が一番欠けていることと、これは特に年が若くなればなるほど国の利益をどう考えているかということが非常に希薄になってきております。この様な状態ですと10年、20年経った時、日本はダメになります。個人中心でなく国益という事を真剣に考えられる人を創っていかなければ日本そのものがなくなってしまいます。いかに経済繁栄しようと、どんな形で国家が形成されようと、やはり国があるの国民生活であるということをきちんと教えていかなければダメだということを聞いたことがありますけれども、まさに住民投票を見ているとそんな気がしてなりません。どうしても三条でも自分に対して、単に損とか得とか迷惑とかの立場での反対か賛成かの対立があります。もうちょっと整理して良い手段があってキチンと教えられたらよいとつくづく考えさせられます。

是非、若い人達に対して、国益とは何であるか、日本を救うにはどんな手段があるかを教えていく時期が来た事を先の住民投票を見て感じさせられました。

以上、私見の一端を述べさせて頂きましてご挨拶とさせて頂きます。有り難うございました。

幹事報告

丸山行彦幹事

◎野沢エレクトガバナー事務所より
2001～2002年度 新世代奉仕関連合同会議のご案内がとどいております。
とき 7月1日(日) AM11:30～
ところ デュオ・セレッソ (高田)
登録費 お一人 10,000円
※1クラブ 2名

6月のお祝い

◎会員誕生祝

6日 石橋育於さん
6日 平原信行さん
9日 小柳直人さん
16日 五十嵐寿一さん
21日 会田二郎さん
24日 捧 賢一さん

◎夫人誕生祝

4日 小宮喜恵子さん (正敏)

◎結婚記念

5日 小柳直人さん

ニコニコBOX

斎藤弘文さん

昨日(5月29日)協同組合三条工業会の総代会が開催され、心ならずも理事長に選任されました。気の重い経済状況ですが精一杯頑張りたいと思います。

丸山行彦さん

忙しいなか卓話ありがとうございます。

小宮正敏さん

私事ですが、6/28株主総会での取締役候補となりました。今後ともよろしく願います。

会田二郎さん

昨日とっても嬉しいことがありました。舞子さんに会うことが出来ました。見る楽しみを味わいました。

五十嵐昭一さん

小宮会員様、この度第四銀行取締役就任おめでとうございます。



小柳直人さん

森山さん、卓話ご苦労様です。普通の卓話ではないでしょうね。おもしろいのやって下さい。

五十嵐昭一さん

家庭会合には多数の会員のご参加、大変ありがとうございました。みなさんの御意見を出来るだけ生かしたいと思います。

菊池 渉さん

いつの日か加茂の山が桐の木でいっぱいになるように思いを込めて、卓話をお聞きいたします。

小越憲泰さん

昨日は工業会の総代会でした。斎藤会長、ご苦労様でした。

五十嵐力さん

三条工業会より賞状を戴きました。

杉山幸英さん

良い季節に成りました。本日の卓話ご苦労様です。

清水良一さん

5/23～24迄の2日間の「家庭会合」ご参加の皆様、ご協力ありがとうございました。

石塚欣司さん

森山様、卓話ありがとうございます。

広岡豊作さん

昨日、三条地区保護司会定時総会を無事終了致しました。

松縄 弘さん

岩井会員お久しぶりです。ご回復おめでとございました。

松谷昊吉さん

森山さん、卓話楽しみにしております。

藤田紘一さん

森山様、卓話ありがとうございます。

山浦日出夫さん

皆様のご理解とご支援のお陰で今年も伝統のイカ合戦を6月2・3日両日開催することができます。ありがとうございます。

川瀬康弘さん

二人の息子がこの春社会人としてスタートしました。

5月30日分 ￥30,000
今年度累計 ￥962,600

卓話

加茂ロータリークラブ 心の苗広報宣伝チーム

森山一理殿



皆様今日は。加茂ロータリークラブから参りました森山です。

私は、1992年10月1日に加茂クラブに入会致しました。今年で9年目を迎えます。私はこう見えても50歳です。この発言はあまり受けませんね。実はまだ43歳でございます。中堅どころで年齢的には下から2番目というところですよ。加茂クラブで一番若い方は41歳で市議員さんで、その次が私です。一番高齢の方は76歳で大正13年か14年のお生まれです。

三条クラブの皆様には大変お世話になりました。当クラブの40周年式典では、私は会場設営委員でしたが、多数の皆様方にお越しいただきまして本当に有り難うございました。

三条クラブの或るお方から、会場の設営運営にお褒めの言葉を頂き大変有り難く思っています。私が幹事の時、三条クラブでは五十嵐会長エレクトさんが幹事で、捧さんが会長であられました。大変勉強させて頂きました。

僅か入会4年目で幹事になった為、何もかも分からないものですから理事会で結構衝突しまして、だいたい頭にきた事が多くありました。ロータリークラブの先輩方は意地悪ですね。特に加茂クラブはそれで陰険です。私の様な若造、未だ若いものですから私的な幹事を多くやらさせられています。ロータリーを楽しもうとやっています。

三条クラブの40周年式典は、中央公民館で行われアトラクションに小椋佳さんが来られました。私も出席致しましたが、加茂クラブに良い席を用意して頂き有り難うございました。本当に小椋佳さんと同じ目線の席で鑑賞できたことは今でも嬉しく思っています。懇親会場では名刺交換もさせて頂きました。大変有り難うございました。

私の中学時代はやはり小椋佳でしたね。小椋佳さんの歌を聴き、又、懇親会で名刺交換をさせて頂きましたことはすごく嬉しく思いました。これもロータリークラブに入会させて頂いた賜と感謝しています。

私は今、加茂ロータリークラブで社会奉仕委員長をやっています。これから紙芝居風の写真で説明致しますが、昨年加茂ロータリークラブ創立40周年を記念致しまして、平成12年12月12日12時12分12秒という時に何かをやろうと考えていました。この日に何かをやりたいと思って社会奉仕委員会を急遽招集しまして、先ず私が提案したのが12名の講演会です。三条クラブの会員の方もそうでしょうが、加茂クラブの会員の皆さんは優秀の方が多く、人前で話すことは何とも思いません。その道の専門家も多くいますが、12名の皆様方から社会奉仕の枠を越えまして12時12分12秒から加茂の中央コミュニケーションセンターで一人30分の卓話をやったらどうかと提案しました。まあ終わりは6時過ぎになり、その後懇親会をしようと思画しましたら、森山さん、聞く人が来なかったら話をしている人に対して失礼になるとして却下されました。その中で森山さん、40周年なのであるから、植樹をやろうといわれまして、桐苗を植えようとしたがやめました。桐苗のことは後でお話し致します。鬱金桜（黄色い桜）を植えさせて頂きました。この記事が新潟日報の三面記事面の全県下版の「話かご」に載りました。県下の各地から、加茂ロータリークラブはなかなかシャレタことをやりましたねと、ご評価のファックス等を頂きました。その後「ロータリーの友」4月号にもカラー写真で載りました。ご覧になって下さい。予算18,000円しか無かったので、15,000円の桜一本を植えました。

加茂ロータリークラブでは、毎年加茂山公園と加茂川の清掃に参加していますが、目印となるものが無いので、私が委員長の時提案しまして、緑の帽子にロータリーのマークを入れ、各人の名前を刺繍したものを作成し会員に配布しました。

加茂クラブから、次年度の社会奉仕委員会に金子静夫さんが出向する予定ですが、その中で加茂クラブではこの様な帽子を作ったことを話をしましたら、それはよいことだとして、地区で作ろうということで各クラブの幹事さんの方へ取りまとめ依頼の通知があったと思いますが、これは加茂クラブの発想です。ところがロータリーの大先輩に言わせると、この様なものを勝手に作ったらいけない。オクトンという所がこの様なロータリーのグッズの制作を一手に引き受けているのであるから、勝手に作ってはいけないということでお叱

りを受けました。この様な経緯でオクトンの方から発売されるそうです。加茂クラブは既にありますので申し込み数は0です。

ロータリークラブは愉しまなければならないということで、加茂クラブでは野球では甲子園で、又合唱団も頑張っています。最近では、ゴルフクラブも復活して愉しんでいます。

会員数は60名で、女性会員は3名です。若い人が多く平均年齢は53歳で、全体的に考え方が若い感覚になっています。

これから「心の苗」の話をさせて頂きます。「心の苗」ということは皆さんの所にお配りしましたパンフレットに書いてありますが、代表の桑原隆という方は、33歳で桐箆屋さんの倅さんです。事の発端は、「心の苗」を何故やるかという、昔加茂では（全国的にも？）女の子の誕生すると記念に桐の木を植えてお嫁に行く時、桐箆箆にして持っていかせるという習慣がありました。

桐は生育が非常に早く、20年経ちますと直径が30～40センチ位になりますが、桐の木一本では箆箆は出来ません。

桐箆業界の現状は非常に厳しく、去年は2社が倒産ないしは廃業に追い込まれています。桐箆箆は今の2×4式とかの建築家屋には不釣り合いということでなかなか売れません。先ず十日町で見る様に着物が売れないですね。従ってそれを入れる箱も売れないということです。この様な現状を踏まえて再認識しようとする様な「心の苗」運動を起こし、桑原隆君が皆さんに声を掛けまして加茂に桐苗を沢山植えてこれを町興しの一環になれば良いとの発想です。これは一つの伝統文化でしょうか。文化は伝承していかねばなりません。

元々、桐は山ではなく畑に植えていたものです。桐畑ということです。でありますから桐は木でもなく、野菜でもないの字は木と同じと書く訳です。火災にも強く外からの炎に対しても中の着物は焼けないという構造上の素晴らしい性質を持っています。

桐の苗運動に「心の苗」と名付けました。心の苗を植えましょうということで募集しましたら、初年度は20本の申し込みがありました。パンフレットにある様にメッセージプレート付きで一苗10,000円です。

先ず、最初に植えるところはどこにしようかと考えましたが、加茂市の新潟経営大学の近くの暁星高校のグラウンドの上の粘土山で、これは桑原君の山で、ここに植えました。当日は、三条新聞社や各テレビ局の方も来られました。

苗を植えた後、皆で昼食会パーベキューをし

して、ビールやジュースを飲みながら苗を植えた人達とお話をしました。植えた苗に、ここにあります様なB5版相当のプレートを付けました。これは植えたお父さんが、娘さんに対してのメッセージプレートです。

心の苗

樹名	里帆の木
植主	石沢元浩
メッセージ	地球を守る女戦士に
植樹日	平成11年7月23日

このメッセージは、ご本人からファクシミリで送られてきたものをそのまま模写した物です。これを植えた方の木に掛けるという様なシステムを取っています。

最初は住宅地の上の方に植えたのですが、粘土質のため生育が思わしくないで、そこで桐箆箆連合会の関係で、秋田在住の桐博士であられる沢村伝三郎先生をお呼びしまして山を見て頂きました。ところがこんな山では桐は絶対に育たないと言われてました。実際2年ぐらい経っても全然生育しませんでした。そこで早速別の山を探しましたが、簡単に山を探すとんでも20年計画の事業ですから大変の訳です。皆で手分けして探した結果、加茂市狭口で20年間貸してくれる山が見つかりました。それは、元、蒲原鉄道狭口駅近くの猿毛山北側の荒れ放題の山でありまして、「心の苗」のメンバー皆でその木を切り、開墾整地致し苗を植えました。「心の苗」のスタッフは現在25名程です。

以下、紙芝居風の写真を使った話です。

この様に桐苗を植えるというより、置いた苗の上に土を被せるという方法です。これが終わると、又皆で楽しいパーベキューを行いました。

感動するのは、インターネット等で桐苗を植えましょうと募集しましたら、いろんな方から申し込みがあることです。みどりの日4月29日に毎年実施していますが、この様に子供が生まれたと言われて、親子で参加し植樹して下さいました。そして山で一日ゆっくり過ごして頂きました。

我々は、この人達から管理料として毎年2,000円頂いていますので「あなたの桐はこの様に成長しましたよ」とデジカメで撮った写真を便りと一緒に植え主の方に差し上げています。

この様に親子でお出でになっています。女の子が生まれたと言われ、上の子をおんぶして来られているお父さんがプレートを掛けておられるところです。良い姿ですね。皆様感動しませんか。この様に活動していますが、このプレートのメッセー

ジが大変面白く良い企画だということで「一子一植運動」からヒントを得「一子一詩コンテスト」が始まりました。この趣旨は作品集の後ろに書いてあります。毎年植えられたものが40数本、今年は63本植えられ、その一本一本に心温まるメッセージのプレートが掛けられています。これは親の子供に対する思いが込められている訳です。

丸岡町で「日本一短い母への手紙」というものがありますが、これに似たものをやろうということで、このコンテストを企画しまして、詩とエッセーを募集しました。これは書店に行きますと、「公募ガイド」という雑誌がありますが、これに載せたり、インターネット等で募集しましたら、海外からも含め480編応募がありました。この中から選択するのは大変でして何回も会議を持ちました。これを纏めたものがこの「一子一詩コンテスト」の作品集です。又これがその表彰式の写真です。ここに小池市長もおられますが、市より30万円の寄付を頂きました。

大賞は、勿論桐箆箆です。大賞は広島の方が獲得致しました。

この作品集は一冊500円です。20冊持参してきましたからお買い求め下さいれば幸いです。

「一子一詩コンテスト」に書かれているそれぞれの詩やエッセーには、我が子等に伝える親たちの思いが込められています。この様な作品集が出来ました。

まあこの様な活動をしています。

植樹している所は、草が生えて大変ですので毎年やっているのですが、これは去年8月にしました下草刈作業の写真です。その後今日お配りした「心の苗通心」にも書いてありますが、そうめん流しなどをし、皆で楽しく過ごしました。毎年新しい仲間がこの桐山に来て、自分自身のそれぞれの思いで一日を過ごしています。如何せん1万円を払って桐苗を植えるという人はなかなかいませんが、桐の木は地球環境にも良いということですから、地道にこの活動を続けていきたいと思います。「一子一詩コンテスト」は大成功を納めましたが、今年の3月11日に「心と命を育むシンポジウム」で「心の苗」の講演会を加茂の文化会館の小ホールで行いました。これは最近青少年の犯罪非行が世間の問題として大きく取り上げられていますが、この様な情勢の中「心の命」として桐苗活動をしている我々としては、もっと子供達の心を育てていかなければならないと考えてこの様な活動に取り組みました。

日本ポリステック教育協会に、佐川透さんという方がおられますが、この方は、元十日町南中学校でいらっしやいましたが、その時校庭の半分を

森にしたということをお聞きしました。佐川さんをお招きしてシンポジウムを開きました。こういう活動もしています。これも「心の苗」の活動の一環の一つです。単に桐苗を植えているだけではないです。

話が戻りますが「一子一詩コンテスト」は加茂ロータリークラブが協賛していますが、その時、私が理事をしていましたので強くクラブに働きかけ、協賛金を頂くことにしました。これと同じ話をライオンズに持って行きましたが、却下されました。それで加茂ロータリークラブが全面的にバックアップしている次第です。

こんなことで桐苗活動の話は終わったのですが、こんな珍しい活動をしていますとマスコミが注目しまして、この間も4月29日のみどりの日にNHK、BSN、朝日新聞が桑原君の所に取材に来ました。毎回桑原君が対応していますと仕事にならんとということで、最近我々メンバーが分散して「心の苗」の活動の話等をしに各地に行っています。

「心の苗」活動のエピソードとして、狭口の山迄の「心の苗」の案内板を数本立てたのですが、地元の方の間に或る宗教団体が山で変な集会をやっているとの噂が立ちましたので、それから看板を変えまして「桐苗を植える活動、心の苗」としました。

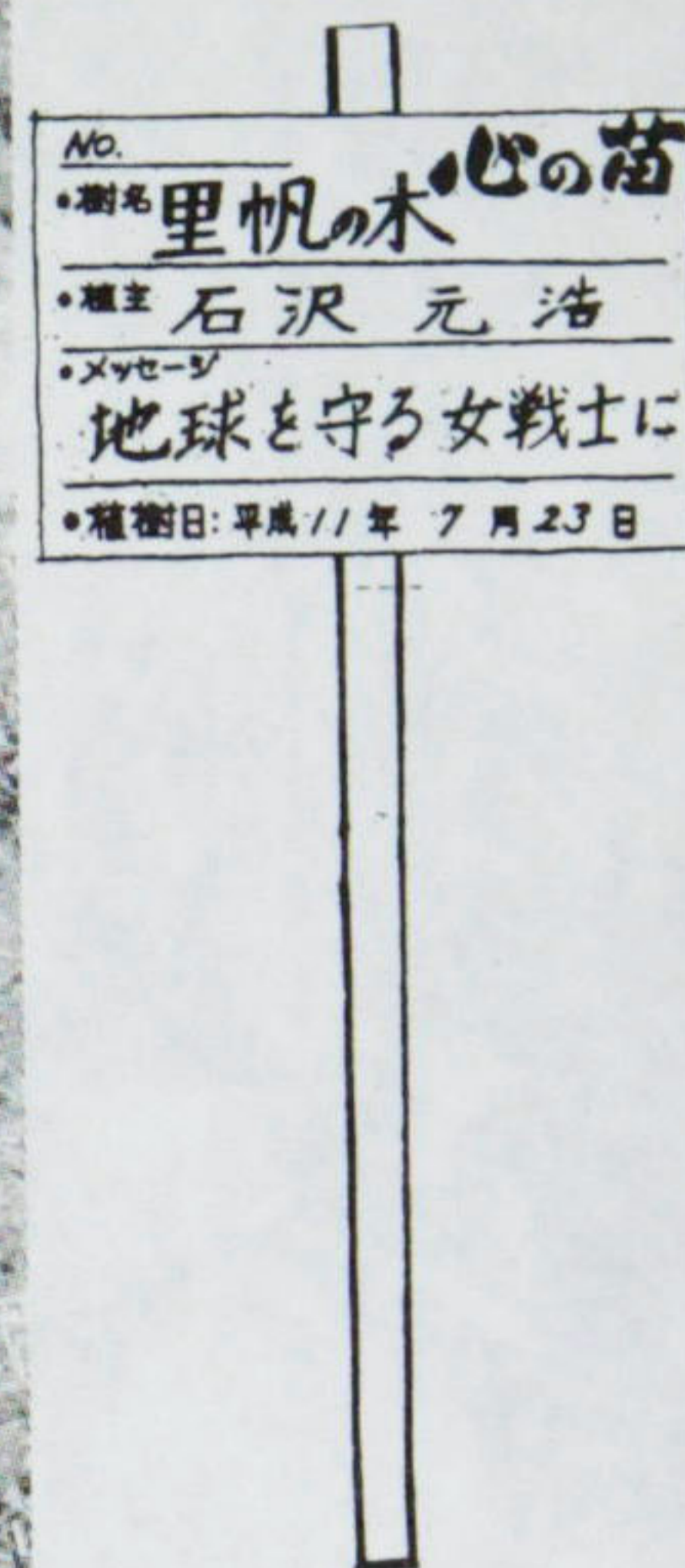
「心の苗」というと丁度その頃オウム真理教の

事件があったものですから、地元の方は混同してビックリした訳です。加茂の人は保守的なところがあるものですから、新しいものに対して理解して貰うのはなかなか大変です。

皆様もよろしければ、お孫さんなり、子供さんが生まれましたら、加茂の山、又は自宅のお庭なりに桐苗を植えられ、地球環境とか、子供さんに対する思い等を伝えて頂きたいと思えます。20年経ったら植えた桐はどうなるかという、はっきり言って桐簞筒は作れません。桐簞筒の母材の一部として使用できますが、一本ではなかなか出来ません。簞筒屋さんがメンバーのなかに5~6名いますから、20年後には相談して頂くシステムになっていますのでよろしくお願いします。

私が幹事の時、卓話に来られた方が40分も話をされ、大変困ったことがありました。紹介した会員の方が話す時間のことを言わなかったのですね。30分過ぎても終わらず困惑しました。加茂クラブの会員の方は気の短い人が多く名札で机の上を叩き騒然となり、私としては冷や汗ものでした。時間ですとのメモを持っていきますと、もう時間ですかと言われる困ったゲストスピーカーもいました、困ったこともありました、ロータリーの例会は楽しいものです。又、機会がありましたらお招き下さい。

本日はご清聴有り難うございました。





例会案内

三条RC	6月13日例会	卓話	日本銀行 新潟支店 支店長 上野正彦様
	6月20日例会	卓話	会田二郎会員

メイクアップをどうぞ

三条南RC	6月11日例会	クラブ・フォーラム
	6月18日例会	クラブ・フォーラム
三条北RC	6月12日例会	会員卓話
	6月19日例会	クラブ・フォーラム
加茂RC	6月14日例会	卓話 加茂保護司会
	6月21日例会	夜例会
燕RC	6月14日例会	クラブ・フォーラム
	6月21日例会	クラブ・フォーラム
見附RC	6月14日例会	会員卓話
	6月21日例会	会員卓話